

第 2 期計画の評価について

評価	改善		変わらない	悪化	評価困難	合計
	目標値に達した A	目標値に達していないが改善 B				
指標数	9 (25.0%)	11 (30.6%)	7 (19.4%)	3 (8.3%)	6 (16.7%)	36 (100%)

- ・ 評価困難を除いた30項目中、改善項目が20項目あり3分の2を占めた。
- ・ フッ化物洗口に取り組み施設が増加するなど特に学齢期ではAの評価が多かった。
- ・ 障がい児の一人平均むし歯数が半減した。

(参考評価) ・ 60歳で24歯、80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合が増加した。